



教科書完全準拠で学力保障! 『研究ノート』

公民

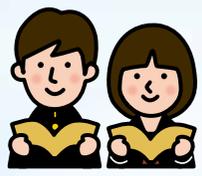
3つのサイクルを回して習得!

わかる

STEP 1
教科書引用文の穴埋め問題
教科書を読み進めて用語を確認

STEP 2
資料活用問題
教科書と同一資料を使った学習事項の確認

STEP 3
「思考力・判断力・表現力」問題
社会的な「見方・考え方」を使った活用問題



学力向上

教科書 p.206~207 国際社会の課題と私たちの取り組み (4)

STEP 1 持続可能な社会をめざし

持続可能な社会をつくるための目標についてまとめよう。

2015年の国連総会で、「だれひとり取り残さない社会」を標榜した。SDGs(持続可能な開発目標)が定められた。

日本のSDGs達成度の低い目標の一つとして、(9) 国合議員の割合がある。解説書上では、資料(9)をなくすこと、すべての子どもが(9)を受け入れること、安全な(9)を定めることが課題である。

SDGsの目標には、地球(9)問題に取り組むこと、仕事において(7)をもつこと、住み続けられる(8)づくりも含まれている。SDGsの目標を達成するためには、(9)、企業、市民が行動し、協力して取り組まなければならない。

私たちは、これから生まれてくる(9)のことを想像しながら、行動していく必要がある。

STEP 2 SDGsの内容についてまとめる。

(1) 右の図は、SDGsに示された17の目標です。日本の達成度の低い次の①~④の目標は、1~17のどれにあてはまりますか。

① 持続可能な消費と生産の循環
② 男女の平等
③ エネルギー産業に由来する気候変動
④ ODAによる発展途上国が国民所得に占める割合

⑤ 電気電子機器の廃棄物の量

(2) 持続可能な社会の実現に向けては、まず(A)に住む一人の人間として、また(B)の共同体の一員として自分の生活を担う必要があります。A・Bにあてはまる語句を書きなさい。

STEP 3 持続可能な社会の実現に向けての行動について考えよう。

右の文に示した海洋汚染の問題の解決に関連のあるSDGsの目標としては、上の図の3、14、17のほか、もう一つの目標が当てはまりますか。

右のような海洋汚染の問題を解決するため、世界の外食産業ではどのような対策がとられるようになっていきますか。具体例を一つ書きなさい。

15位 日本はSDGsの達成度の低い(2018年、156か国中)「つくる責任が重い」は下から5番目など、低い達成度の目標もあります。

研究ノート p90-91



教科書 p206・207



7 持続可能な社会をめざし

Point 1 SDGsとは

- 持続可能な開発目標(SDGs)は、国連総会で合意
- 世界が直面しているさまざまな課題を解決
- 「だれひとり取り残さない社会」を標榜
- 先進国も発展途上国も含め世界の国々が協力
- 日本のSDGs達成度の低い目標……女性国合議員の割合、電気電子機器の廃棄物の量、エネルギー生産にともなう二酸化炭素排出量 など

[持続可能な社会のための国際協力]

- 先進途上国にとってより深刻な課題
- 貧困や飢餓をなくすこと
- すべての子どもが教育を受けられること
- 安全な水を飲むこと など

[私たちの行動と持続可能な社会]

- 先進途上国と発展途上国ともに取り残さなければならないSDGsの目標
- 男女の平等の実現
- 地球環境問題
- 仕事において「働きがい」をもつこと
- 差別をなくすこと
- 住み続けられるまちづくりをすること
- SDGsの掲げる目標達成のための行動……政府、企業、市民が行動し、協力しなければならない

さまざまな意見をもつ人々が参加して政策に合意

- 持続可能な社会へ向けて……これから生まれてくる後継者のことを想像しながら、行動していくことが求められる
- 地球に住む一人の人間として
- 地域の共同体の一員として

自分自身の生活を見過ごさず取り組む

Point 2 教科書と同じ
デザイン・書体・資料を採用!

- Point 1** 学習課題を書きこむ
- Point 2** 教科書の流れに沿った板書例で、課題をまとめる
- Point 3** 教師用ROMのデジタル教材単元別「A・Lワークシート」で効果的に習得

楽しくなる

- ▶ 巻末の「重要用語」で基礎用語を確実に定着
- ▶ 編(章)のまとめに「総合問題」
- ▶ 入試問題にも挑戦

重要用語

正解しらぬにチェックしておきましょう。

① 私たちが生きる現代社会の特徴

② 持続可能な開発目標(SDGs)

③ 持続可能な社会

④ 持続可能な社会の実現に向けての行動

⑤ 持続可能な社会の実現に向けての行動

総合問題

3 社会生活の発展に必要不可欠な役割を担っている。次の中から適切なものを2つ選び、記号で答えなさい。(大問・改)

ア 20歳以上 イ 40歳以上 ウ 50歳以上

ア 政府は労働に関する現状を変えるために、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進のための国民運動を進めている。この取り組みは、資料から読み取れる課題と関係がある。資料から読み取れる課題を、日本と他国と比べて、書き出して、「高」の語句を用いて書きなさい。(編問・改)

A・Lワークシート

国民権と日本の政治

国民権とは、地方自治のしくみについて理解し、自分の権利の範囲を把握し、問題を論理的に解決することができる。

① 選挙権のしくみについて理解し、自分の権利の範囲を把握し、問題を論理的に解決することができる。

② 国民権の範囲を把握し、問題を論理的に解決することができる。

▶ 単元のまとめに、主体的・対話的に取り組める「A・Lワークシート」

QRコード

使い方・内容説明はこちらから

秀学社